

がんばれ大阪の企業

なにわの 環境経営かわら版

大阪市環境経営推進協議会 第27号 平成26年3月

Osaka City Promotion Council of Environmental Management

平成25年度 第3回セミナー

『廃棄物の適正処理から見る企業の将来』
事例と改善ヒント（基調講演とパネルディスカッション）



1月23日（木）午後2時から大阪ATCグリーンエコプラザにおいて、『廃棄物の適正処理から見る企業の将来』と題してセミナーを開催致しました。新年にあたり当協議会の南会長の挨拶に引き続いて、基調講演は「廃棄物の適正処理から見る企業の将来」、その後、様々な業種の担当者様を交えてのパネルディスカッションで廃棄物の実態が良くわかるセミナーとなりました。最後に大阪市環境局から大阪市の情報提供を頂きました。（参加40名）



南会長



木村修市氏

1. 基調講演「廃棄物の適正処理から見る企業の将来」

サブタイトル <環境経営とリスクヘッジ>

一般社団法人 大阪市一般廃棄物適正処理協会会長 木村修市氏

基調講演では、廃棄物にかかわる「大量生産」「大量消費」「大量廃棄」の歴史、廃棄物の処理フロー、その環境負荷を低減するために排出者が出来ること（分別、回収業者の運搬効率を上げるための減容、運搬時間や排出方法を合わせる時間帯や回収ルート）やマネジメントシステムの利用、集約化、

排出者責任のモラルなどが重要であるとの説明がありました。また、廃棄物処理に関する報道のビデオが紹介され、不法投棄の実態や、廃棄物処理法違反の罰則から、企業の「3責」として法的責任、社会的責任、経済的責任が重要であることが理解できました。

2. 「パネルディスカッション」

司会：環境カウンセラー・エネルギー管理士 宇田吉明氏

パネラー：(株)太洋工作所 川畑一成氏・アジア太平洋トレードセンター(株) 三浦伸夫氏
近畿産業(株) 傍島真氏・大阪市一般廃棄物適正処理協会 木村修市氏



宇田吉明氏



川畑一成氏



三浦伸夫氏



傍島真氏



木村修市氏

パネルディスカッションでは業種の異なる4社の皆さんに、それぞれの業種の特徴から廃棄物処理についての意見や提案を聞くことができました。分別を徹底して圧縮すると有価物として経費削減できること、店舗の分別は困難であるが館内規則を充実すれば意識改善できること、また、収集側としては、顧客のごみの写真を撮ってカテゴリーに分類して配布するサービス、ごみ置き場が小さいとごみが混じるので表示や仕切りの工夫など、実行可能な取り組みが紹介され、非常に参考になりました。

3. 「大阪市からの情報提供」

大阪市環境局環境施策課 一野係長

最後は大阪市からの情報として、6月7日（土）に大阪南港（咲洲）ATCで家族連れを対象に開催予定の「おおさか環境月間フェア（仮称）の協賛」について、様々な環境への取り組みが予定され、多くの団体企業の方にご参加、ご協力頂きながら開催する連携型イベントであり、参加方法やその内容について報告されました。

平成 25 年度 地域部会活動報告

東成地域部会 セミナー・見学会・総会・交流会

東成部会では、2月13日にセミナー、見学会、総会、交流会をおこないました。セミナーは13時30分から14時30分まで、会員企業の有光工業様の会議室をお借りして、環境カウンセラー協会理事の飯田哲也氏に「最近の経営志向あれこれ」と題して、IT技術を利用した資金調達クラウドファンディング、業務の合理化、売れる商品の物語など今後の経営要素として、中小企業であっても取り入れると有利な事例を報道ビデオの紹介を交えてわかりやすく講義して頂きました。(参加15名)



セミナー風景
飯田哲也氏



消火体験

セミナー終了後は大阪市立阿倍野防災センターへ移動し、消火体験、地震体験、通報体験、煙中体験、防災救急体験に参加し、最近、クローズアップされてきたBCP(事業継続計画)についても自社の備えが重要であることが認識されました。体験コースは80分コースで修了証を頂きました。(参加10名)



挨拶される
金子部会長

見学会のあと、総会会場に移動して平成25年度総会を開催致しました。有光工業(株)金子部会長の挨拶で始まり、第1号議案 平成24年度活動報告について、第2号議案 平成24年度収支決算及び会計監査報告について、第3号議案 役員改選について、第4号議案 平成25年度活動予定・収支予算(案)について満場一致で承認可決され、総会は終了いたしました。(参加11名)

引き続き、交流会に入り、最近の社会情勢の影響を受ける中小企業の経営について、また、異業種の情報交換など、和やかな雰囲気の中で、次年度の活動に向けた意気込みを確認することができました。

淀川地域部会 見学会・総会・交流会

1月31日に開かれた役員会で、平成25年度の淀川地域部会の活動は、部会会員の会社見学をさせていただこうと、まず田岡化学工業様をお願いすることになり、3月3日の総会に先立って、淀川区西三国の工場を見学させていただきました。(10名)

広大な1万坪の敷地で精密化学品と接着剤、ゴム用添加剤等の製造をしておられ、大規模な化学プラントの施設を案内いただきました。地球温暖化防



見学会風景

止対策としてコージェネレーション設備を導入され温水利用などCO2削減に大いに取り組んでおられました。また、特に周辺が民間の住宅地になっており、臭気対策や地域社会との交流に十分な配慮をしておられました。



総会風景

その後、場所を大阪ガーデンパレスホテルに移して、大阪市環境局からの情報提供として、泉課長代理から、平成25年度版大阪市環境白書の解説と地球温暖化の現状や環境省の資金支援のADB拠出金制度、2国間クレジット(JCM)プロジェクト、ベトナムホーチミン市との低炭素都市形成支援プロジェクトなどの詳細情報を提供していただきました。

引き続き総会に入り、平成24年度活動報告・会計報告・会計監査報告、役員改選、平成25年度活動予定、収支予算案をいずれも全会の拍手で決議いただきました。

(出席10社、委任状13社、部会員総数27社)

その後交流会に入り、各社の現状紹介を交えて、近隣の特定のクレマーへの対処の経験談など、和やかで有意義な会話が閉会にいたるまで続き、無事に本年度の淀川地域部会を終えることが出来ました。

(事務局塚本、記)

有光工業 株式会社

水と空気の創造力で”環境の世紀”に貢献します

有光工業株式会社は「水と空気」を媒体として、クリーンな環境を創造する多様な商品を開発しています。「環境の世紀」と言われる21世紀、アリミツの技術はますます社会に必要とされています。「環境」に深く関わるモノづくり企業として、アリミツはよりよき社会のために貢献していきます。

当社の経営方針 『 夢、夢、夢を追う そして実現、そして楽しく 』

■ ISO沿革

- 1999年 ISO9001 認証取得 (品質)
- 2002年 ISO14001 認証取得 (環境)
- 2005年 環境商品〔静電ノズル〕販売開始
- 2006年 大阪市環境部より大阪市環境表彰「事業者の部」の受賞
- 2009年 環境商品〔冷やっ娘〕販売開始
- 2010年 大阪市環境局より事業廃棄物処理について優良建築物標章の受賞



■ 環境方針

1, 環境理念

当社の経営理念の「夢」を与え続けられる企業として、環境を大切にする組織活動を行い、自然と人が調和する快適環境を創造する商品及びサービスをお客様に提供して社会に貢献する。

2, 環境方針

- 1) 環境理念を実践するため、当社の組織活動、商品及びサービスを通じて、人に優しい環境作りを行います。
- 2) 従業員及び関係者が環境方針を理解し、環境マネジメントシステムの継続的改善と環境汚染の予防に努めます。
- 3) 法規制及びその他の要求事項、協定の順守と自主基準を設定し、管理レベルの向上により、その達成を図ります。
- 4) 環境方針に沿った環境目的及び環境目標を設定し、検証し、定期的にレビューを行います。
 - (1) 資源、エネルギーの有効活用による、省資源、省エネルギーの推進
 - (2) 廃棄物の削減と資源リサイクル化の促進
 - (3) 省資源、省エネルギーなど、環境に配慮した商品の開発
- 5) 環境マネジメントシステムを確立し、実行し、維持するために、従業員及び関係者への周知徹底を図ります。
- 6) 地域社会とコミュニケーションを図り、地域の環境保全を推進します。

■ 環境にやさしい商品の一例

〔静電ノズル〕

農作物の健康管理には農薬散布は不可欠です。

静電の力で農薬を無駄なく葉の裏まで均一に付着させ、防除効果アップと農薬量が削減できる環境にやさしい商品です。



静電ノズル

〔細霧システム〕

霧の力を活かした、省エネでエコロジーなシステムです。

高圧ポンプで加圧した微粒子が空間で蒸発する際に、気化熱として周辺温度を奪うことで効率良く - 5 の涼しさが得られます。



エアコン室外機に噴霧で電力削減



移動式〔冷やっ娘〕



静電ノズルによる農薬散布

ホーチミン市の低炭素都市形成に向けて

大阪市では、平成 25 年度より官民連携による「ホーチミン市・大阪市連携による低炭素都市形成支援調査事業」を実施しています。

この事業の一環として、平成 26 年 3 月 16 日～22 日にホーチミン市の関連部局を招聘し来日研修を実施しました。この研修では、ホーチミン市が抱える都市洪水、乾季の電力不足、地表水・地下水の水質劣化、交通渋滞、都市固形破棄物の増加等の都市問題の解決に向けた議論を行うとともに、大阪市の焼却工場や下水処理場の現地視察を実施しました。この研修での議論を踏まえて、都市経営・都市開発の総合的ノウハウを持つ行政機関と先進的な技術を持つ民間企業等が一体となり、優れた環境技術を有する在阪企業・関西企業の海外展開を推進していきます。



中浜下水処理場視察

「ホーチミン市・大阪市連携による低炭素都市形成支援調査事業」に関する URL <http://osaka-hcm-lcc.net/>

事務局だより

大阪市環境経営推進協議会のセミナー、見学会にご参加お願いいたします。
エコアクション 2.1 構築支援（無料）や相談もお任せください。

社員教育向けに講師無料派遣を行う「出前講座」、騒音計の無料貸し出しやマネジメントシステムの内部監査員養成講座の会員割引など、会員様向けサービスをご利用下さい。

【今後の予定】

4 月 24 日：視察研修会 ㈱ダスキン 大阪中央工場

6 月 20 日：大阪市環境経営推進協議会平成 26 年度総会

建設業マネジメントシステム認証取得事業者に朗報

大阪府では、地球温暖化対策として中小企業への環境マネジメントシステムの普及促進を図るなど、環境行政推進の一環として環境マネジメントシステムを総合的に推進しています。

このたび、建設事業者への環境マネジメントシステムの導入促進を図るため、平成 27・28 年度の建設工事競争入札参加資格審査から、等級区分（ランク付け）における主観点項目として、これまでの地元点・福祉点に加え「環境点」として環境マネジメントシステム（エコアクション 2.1、KES、エコステージ）の取得を追加します。

名称：環境点

対象：「エコアクション 2.1」または KES ステージの認証取得

条件：大阪府と契約する本店、支営業所での認証取得

建設業許可を有する種についての認証取得

加算点：いずれかの認証取得をしている場合に、2 点もしくは 4 点を希望より加算

KES（ステップ 1）またはエコステージ（ステージ 1） 2 点

KES（ステップ 2）またはエコステージ（ステージ 2 以上） 4 点

エコアクション 2.1 4 点

第 27 号 平成 26 年 3 月

発行者：大阪市環境経営推進協議会

業務委託先：NPO 法人 大阪環境カウンセラー協会

住所：〒550-0005 大阪市西区西本町 1-7-7 CE 西本町ビル 8F

大阪市環境経営推進協議会事務局業務担当

TEL:06-6543-7779 FAX:06-6543-7779

E-mail: info@osaka-e-keiei.org

<http://www.osaka-e-keiei.org/>